

## CI-NET 適合性試験手順書

### 1. はじめに

#### 1.1 目的

CI-NET 適合性試験は、新規 CI-NET サービス開発業者内の送受信テストにおいて、各メッセージのデータ項目が実装規約に準拠された形式であるかを検証するために行う。

#### 1.2 基本的な考え方

適合性試験では、CI-NET LiteS 実装規約の準拠について、自社内でテスト環境（送信用端末、受信用端末）を準備する。

#### 1.3 当試験の対象

##### (1) メッセージの範囲

システムに実装するメッセージを対象として実施する。

<実装規約に定義されているメッセージ>

業務フェーズ	メッセージ名
見積業務	建築見積依頼メッセージ 建築見積回答メッセージ 設備見積依頼メッセージ 設備見積回答メッセージ 設備機器見積依頼メッセージ 設備機器見積回答メッセージ
購買見積業務	購買見積依頼メッセージ 購買見積回答メッセージ 見積不採用通知メッセージ
注文業務	確定注文メッセージ 注文請けメッセージ 鑑項目合意変更申込メッセージ 鑑項目合意変更承諾メッセージ 合意解除申込メッセージ 合意解除承諾メッセージ 一方的解除通知メッセージ 合意打切申込メッセージ 合意打切承諾メッセージ 一方的打切通知メッセージ
納入業務	工事物件案内メッセージ

出来高業務 立替業務 支払業務	出来高要請メッセージ 出来高報告メッセージ 出来高確認メッセージ 立替金報告メッセージ 立替金確認メッセージ 請求メッセージ 請求確認メッセージ 支払通知メッセージ 工事請負契約外請求メッセージ 工事請負契約外請求確認メッセージ
その他	今後実装規約の変更で追加される項目を含む

## (2) 項目確認の範囲

新規 CI-NET サービス開発業者の ASP 間で基本的な情報が適切に受け渡しているかを確認する。

- ・ メッセージグループヘッダへのセット情報
- ・ メッセージ本文へのセット情報
- ・ 署名(証明書情報)
- ・ 暗号化/復号
- ・ トランスレータ結果
- ・ 見読性の確認と原本の確認

## 2. 実施方法

下記に示す実施方法を参考として、適合性試験を実施する。

### (1) データ項目定義

- ① 実測規約に規定されているデータ項目定義に適合しているか検証する。
- ② 各データ項目で「データ項目適合性試験チェックシート」に記載する。

### (2) メッセージ送受信

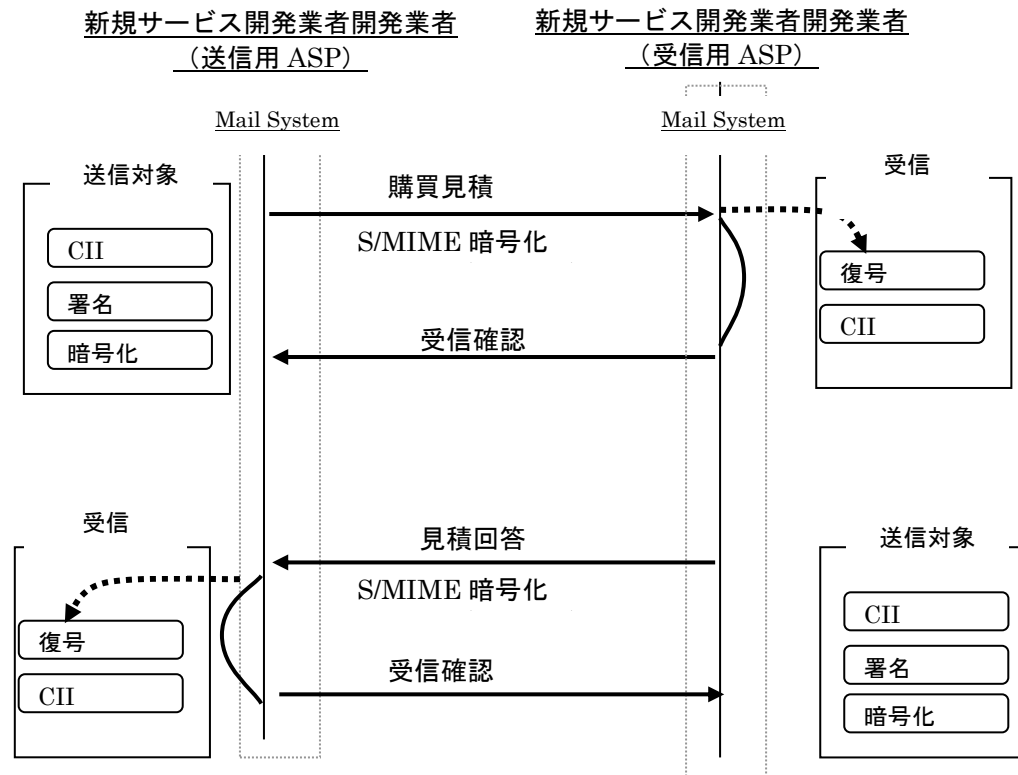
- ① 定義されている事務局から提供される“適合試験用データ(簡易版)”、“適合試験用データ(実データ版)”を用いて、新規 CI-NET サービス開発業者の ASP 間で、実装規約に準拠したメッセージの送受信が可能か検証する。
- ② 見読性と原本の確認を行うため、送受信したメッセージの添付ファイルをビューワソフトに取り込み、適切に表示されるか確認する。

※ビューワソフトでは、CI-NET LiteS 実装規約 指針・参考資料に記載の保管管理システムから取り出される電磁的記録(エクスポート・ファイル)を閲覧できること。

- ③ 各メッセージで実施した検証結果を、「適合性試験チェックシート」に記載する。

### 3. テストシナリオ

#### (1) テストイメージ（購買見積依頼、見積回答）



#### (2) テスト分類

下記(A)から(D)パターンに基づきテストを実施する

##### (A)技術情報の有無によるパターンテスト

- (A-1) 技術情報 無し(0個)
- (A-2) 技術情報 有り(1個)

##### (B)ファイル数、種類パターン

- (B-1) 単一ファイル
- (B-2) 複数ファイル

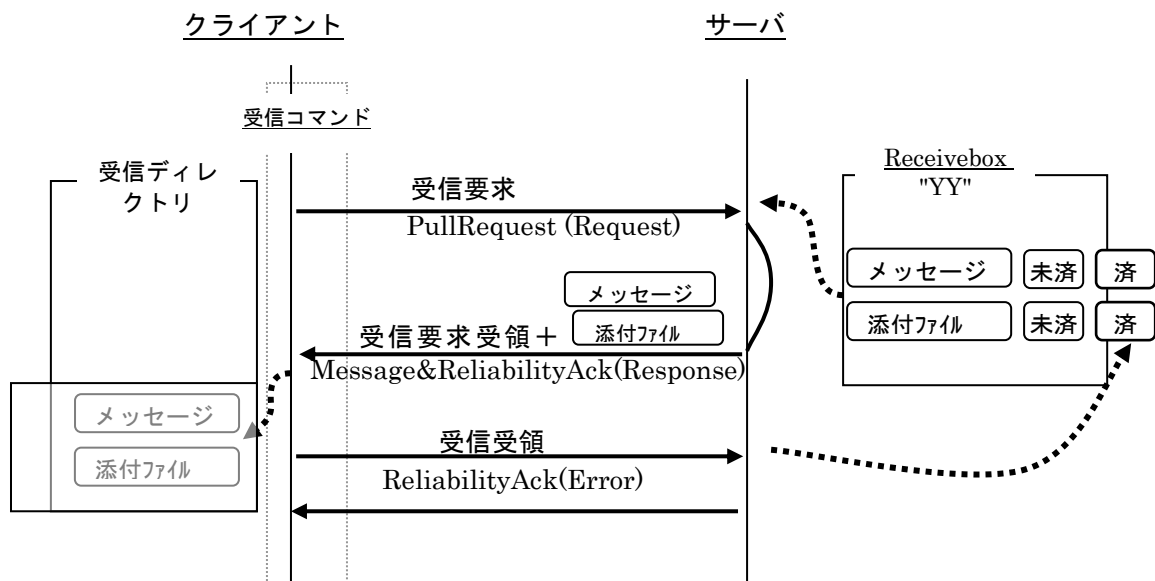
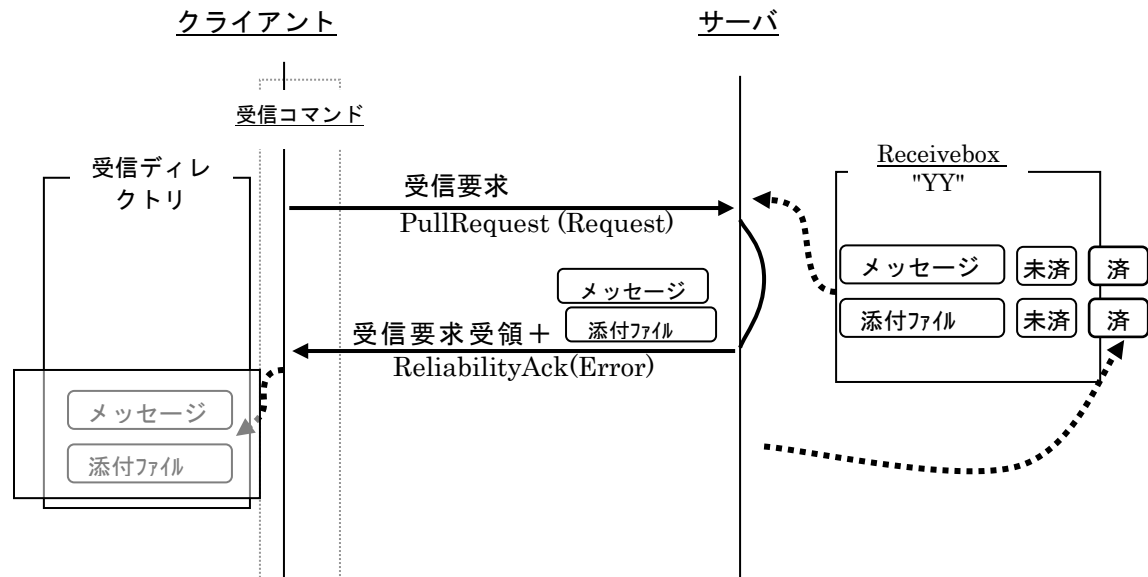
##### (C)メッセージ件数パターン

- (C-1)メッセージ件数 1件 (数 KB 相当)
- (C-2)メッセージ件数 N 件 (数 MB 相当)

##### (D)エラーケースのテスト

- (D-1)メッセージ件数 不正データなし
- (D-2)メッセージ件数 不正データあり

# GetMessage(ダウンロード)



以上